

医療経営論⑧

～実際の現場から～

済生会横浜市南部病院
医事請求課 柳澤孝彰



社会福祉法人 Saiseikai Yokohamashi Nanbu Hospital

恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院



はじめに

医療事務のイメージは？？？





本日は

- ・ 自己紹介
- ・ 病院紹介
- ・ 現場では





自己紹介

柳澤孝彰 やなぎさわ たかあき

1982年生
埼玉県秩父市出身

埼玉県立熊谷高等学校卒
京都外国語大学外国語学部英米語学科卒
2004年 4月 京都ブライトンホテル入社
2007年10月 医療法人花仁会 秩父病院入職
2015年12月 済生会横浜市南部病院入職
医事課配属 入院請求担当
現在に至る

医療経営士2級
診療情報管理士





自己紹介





自己紹介





自己紹介

医療経営士



一般社団法人 日本医療経営実践協会
Japan Medical Management Practice Association

[ホーム](#) [プライバシーポリシー](#) [サイトマップ](#)

お問い合わせ

サイト内検索

検索



これからの医療現場を担う「医療経営士」





自己紹介

医療経営士 中村塾



塾長：中村彰吾氏

（公益社団法人 医療・病院管理研究協会常任理事／日本医療経営実践協会参与）
2007年7月、一般財団法人聖路加メディカルセンター聖路加国際病院（事業管理部長）を定年退職、同年9月、公益社団法人医療・病院管理研究協会常任理事就任（至現在）。同年11月、学校法人東京女子医科大学病院院長補佐に就任（2009年3月退任）。2009年4月より地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター理事・経営企画局長（2015年3月退任）、2010年に独立行政法人国立病院機構契約監視委員に就任（至現在）。2015年4月より現職。

第3回全国医療経営士実践研究大会
口頭演説にて賞をいただく



雪害を通して考えるBCP策定

～雪国でない地域の雪害の状況報告と

BCP策定へ向けた活動報告第1報～

医療法人花仁会 秩父病院

柳澤 孝彰

医療経営士2級

認定番号21110014010039



自己紹介

柳澤孝彰 やなぎさわ たかあき

1982年生
埼玉県秩父市出身

埼玉県立熊谷高等学校卒
京都外国語大学外国語学部英米語学科卒
2004年 4月 京都ブライトンホテル入社
2007年10月 医療法人花仁会 秩父病院入職
2015年12月 済生会横浜市南部病院入職
医事課配属 入院請求担当
現在に至る

医療経営士2級
診療情報管理士





本日は

- ・ 自己紹介
- ・ 病院紹介
- ・ 現場では





病院紹介

済生会横浜市南部病院

開院日 昭和58年6月10日
病院長 今田敏夫
病床数 500床
診療科 27科
職員数 1,010名（常勤）

神奈川県災害医療拠点病院
地域医療支援病院
横浜市小児救急拠点病院
臨床研修指定病院
DPC対象病院
横浜市二次救急拠点病院
横浜市産科拠点病院
神奈川県がん診療指定病院
日本医療機能評価機構認定
横浜市小児がん連携病院





病院紹介

恩賜財団済生会とは

- ・ 済生勅語
- ・ 総裁は
- ・ 本部は
- ・ 【 】 都道府県に
- ・ 第1号病院は





病院紹介

語勅生濟

朕惟フニ世局ノ大勢ニ隨ヒ
國運ノ伸張ヲ要スルコト
方ニ急ニシテ經濟ノ狀況
漸ニ革マリ人心動モスレハ
其ノ歸向ヲ謬ラムトス政ヲ
爲ス者宜ク深ク此ニ鑑ミ
倍々憂勤シテ業ヲ勸メ
教ヲ敦クシ以テ健全ノ發
達ヲ遂ケシムヘシ若夫レ
無告ノ窮民ニシテ醫藥
給セス天壽ヲ終フルコト
能ハサルハ朕カ最軫念シテ
措カサル所ナリ乃チ施藥
救療以テ濟生ノ道ヲ弘メム
トス茲ニ帑ノ金ヲ出クシ
其ノ資ニ充テシム御克ク朕カ
意ヲ體シ宜キニ隨ヒ之ヲ
措置シ永ク衆庶ヲシテ
頼ル所アラシムコトヲ期セヨ

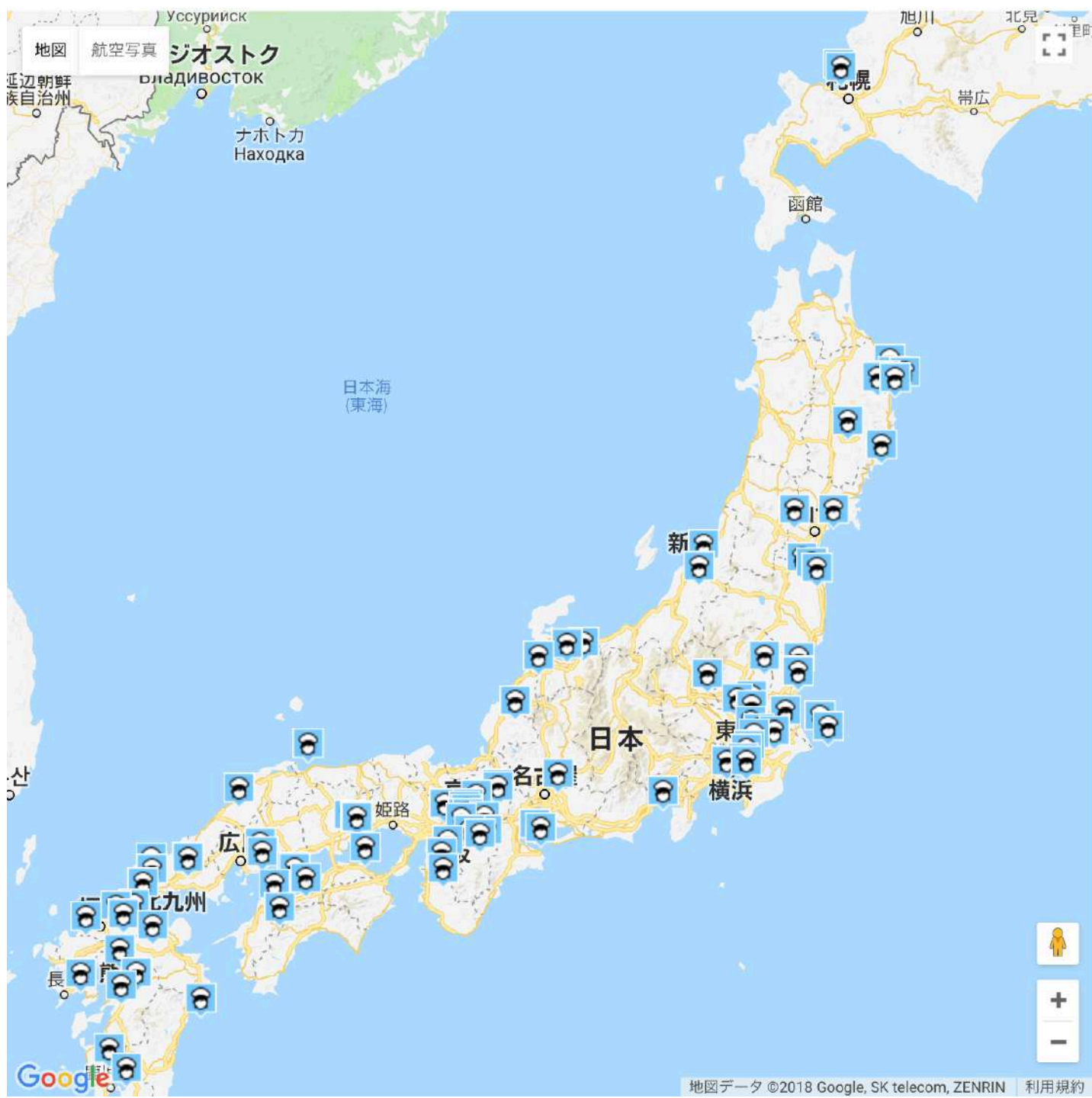
私が思うには、わが国は世界の大勢に対応して、国運の伸長を急務としてきた。経済情勢はようやく改まったが、国民の中には考え方を誤る者も出てきた。政治を預かる者は、動揺する人心を考慮して、これに十分な対策を講ずる必要がある。勸業と教育に意を用い、国民の健全な発展に尽力しなければならない。

もし、国民の中に頼るべきところもなく、困窮して医薬品を手に入れることができず、天寿を全うできない者があるとすれば、それは私が最も心を痛めるところである。こうした人々に対し無償で医薬を提供することによって命を救う「濟生」の活動を広く展開していきたい。その資金として皇室のお金を出すことにした。総理大臣はこの趣旨をよく理解して具体的な事業をおこし、国民が末永く頼れるところとしてもらいたい。



病院紹介







病院紹介



TOP

病院概要

ご来院の方へ

入院される方へ

医療機関のみなさまへ

診療科/センター部門/サポート部門/訪問
看護ステーション

リクルート

情報公開・公告

予防医療センター健診のご案内

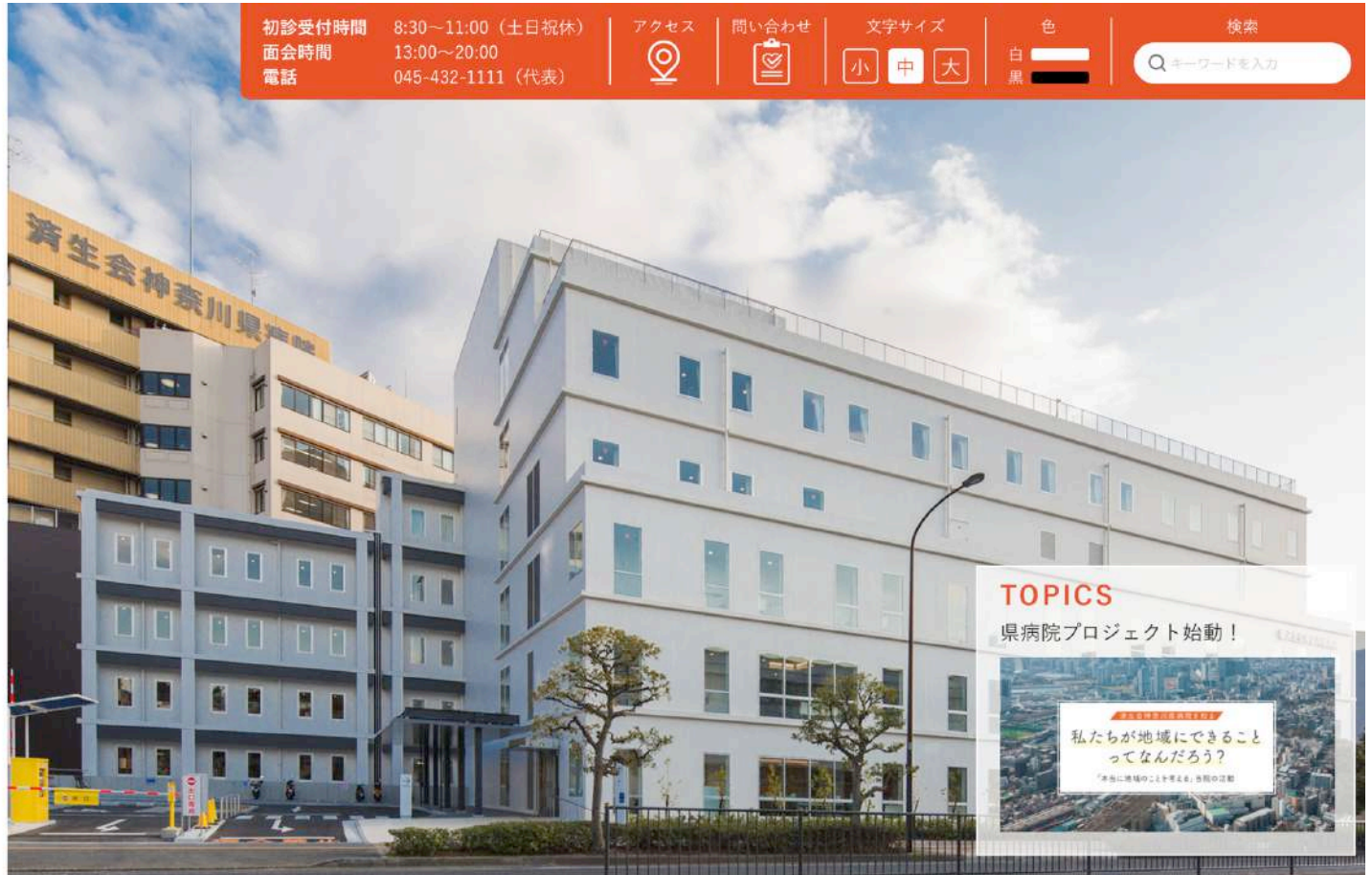
特長 基本方針

受診者の権利 検査メニュー

よくある質問 予約について

診察担当医表

休診表





病院紹介

済生会横浜市南部病院

開院日 昭和58年6月10日
病院長 今田敏夫
病床数 500床
診療科 27科
職員数 1,010名（常勤）

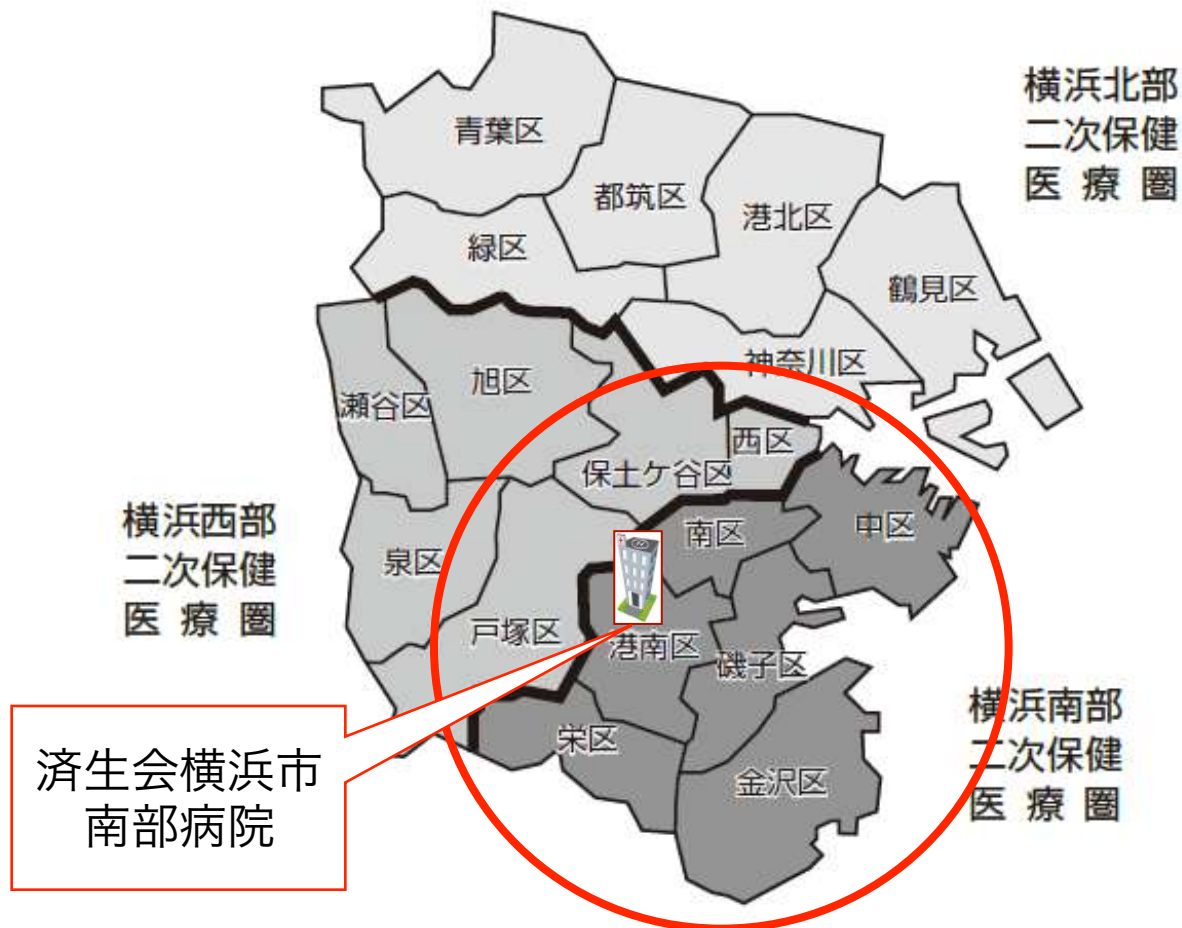
神奈川県災害医療拠点病院
地域医療支援病院
横浜市小児救急拠点病院
臨床研修指定病院
DPC対象病院
横浜市二次救急拠点病院
横浜市産科拠点病院
神奈川県がん診療指定病院
日本医療機能評価機構認定
横浜市小児がん連携病院





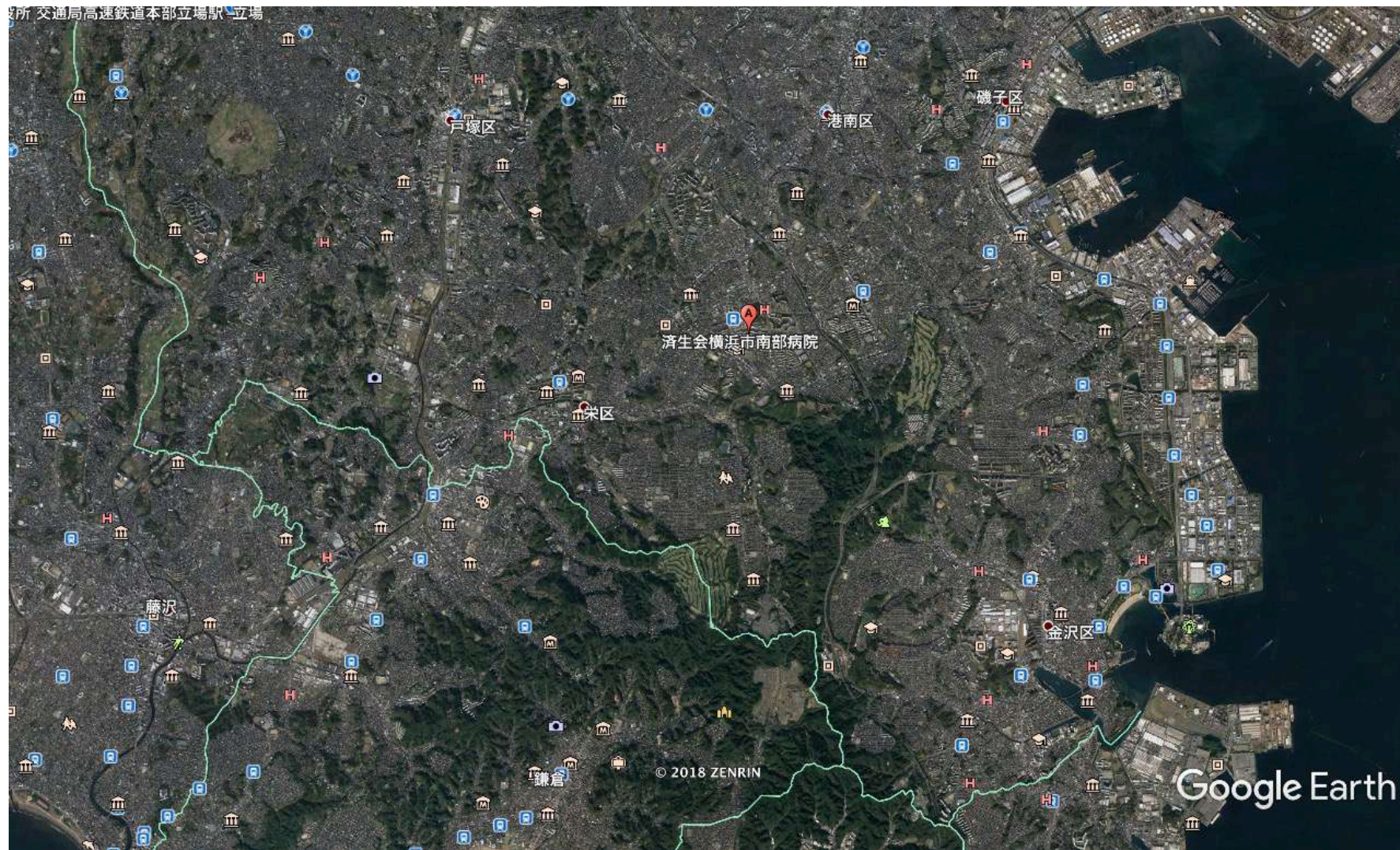
病院紹介

横浜市は3医療圏からなる(1医療圏6区)





病院紹介





病院紹介

平成29年年度診療実績

入院単価
67,003円

平均在院日数
9.2日

病床稼働率
91.7%

外来単価
15,959円

紹介率
89.2%

逆紹介率
94.6%

救急患者数
1,698件/月

救急車受入数
680件/月

手術件数
442件/月





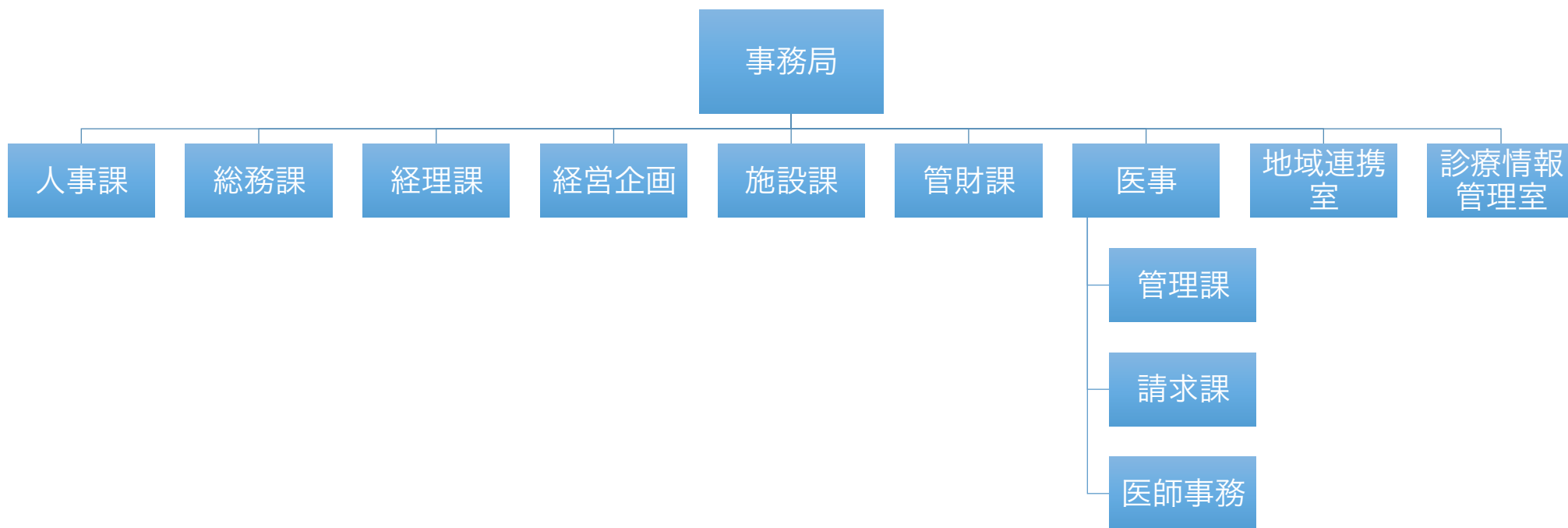
本日は

- ・ 自己紹介
- ・ 病院紹介
- ・ 現場では





現場では





現場では

医事請求課 所属

入院請求担当

外科・耳鼻科・歯科



循環器・心臓血管外科
形成外科



小児科・歯科

11病棟を10人の担当者にて
日々の退院会計請求
未収金管理
レセプトの点検、請求
各種委員会への出席





現場では

8:40

- 出勤
- 退院会計準備、請求

10:30

- 各種伝票整理
- 翌日退院患者の概算計算

12:00

- 昼食

13:00

- 午前からの続きを行う

15:00

- 概算を病棟クランクへ連絡
- 各種伝票整理

16:00

- レセプト点検

17:15

- 退勤定時





現場では

診療点数早見表

【医科】2018年4月現在の診療報酬点数表

2018年4月版

1 医科診療報酬点数表	初・再診
A 基本診療科	入院基本
B 医学管理等	入院加算
C 在宅医療	特定入院
D 検査	医学管理
E 画像診断	在宅
F 投薬	検査
G 注射	画像
H リハビリテーション	投薬
I 精神科専門療法	注射
J 処置	リハ
K 手術	精神
L 麻酔	麻薬
M 放射線治療	手術
N 病理診断	麻酔以外の麻薬
2 厚生労働大臣が定める基準等	材料
● 材料価格基準	食事・生活
● 入院時食事療養費・入院時生活療養費	基本施設
● 基本診療科の施設基準等	特種施設
● 特種診療科の施設基準等	関連告示
● 関連する告示・通知等	療費
● 保険医療機関及び保険医療費担当規則	療外費用
● 保険外併用療養費関連告示	附録

◎ 診療報酬請求書・明細書の記載要領

医学通信社

DPC点数早見表

診断群分類樹形図と包括点数・対象疾患一覧

DIAGNOSIS PROCEDURE COMBINATION



- 01 神経
- 02 眼科
- 03 耳鼻
- 04 呼吸器
- 05 循環器
- 06 消化器
- 07 筋骨格
- 08 皮膚
- 09 乳房
- 10 内分泌
- 11 腎尿路
- 12 女性
- 13 血液
- 14 新生児
- 15 小児
- 16 外傷
- 17 精神
- 18 その他

2018年
4月版

医学通信社





現場では

DPC . . .

Diagnosis Procedure Combination

Diagnosis → 診断

Procedure → 治療・処置

Combination → 組み合わせ

「病名（診断）」と「提供されたサービス」の
「組み合わせ」によって様々な状態の患者を
分類するツール（方法）





現場では

DPC/PDPS

Diagnosis Procedure Combination/
Pre-Diem Payment System

Diagnosis → 診断

Procedure → 治療・処置

Combination → 組み合わせ

Pre-Diem Payment System →

入院1日あたり定額支払制度





現場では

DPCの基本

出来高払い方式

入院基本料

投薬・注射

検査

画像

処置

手術

リハビリ

透析

食事代

包括

そのまま

DPC方式(包括払い)

1日あたりの定額点数

×

日数

(包括部分)

手術

リハビリ

透析

食事代



現場では

平成30年度診療報酬改定

診断群分類点数表の見直し（概要）

- 診断群分類の見直しを行い、診断群分類数等は以下の通り
- 平成30年度より使用するICD-10コードは2013年度版とする。

	MDC数※1	傷病名数	診断群分類数	包括対象※2	
				支払い分類※3	
平成15年4月	16	575	2,552	1,860	
平成16年4月	16	591	3,074	1,726	
平成18年4月	16	516	2,347	1,438	
平成20年4月	18	506	2,451	1,572	
平成22年4月	18	507	2,658	1,880	
平成24年4月	18	516	2,927	2,241	
平成26年4月	18	504	2,873	2,309	
平成28年4月	18	506	4,918	4,244	2,410
平成30年4月	18	505	4,955	4,296	2,462

※1 MDC：Major Diagnostic Category 主要診断群

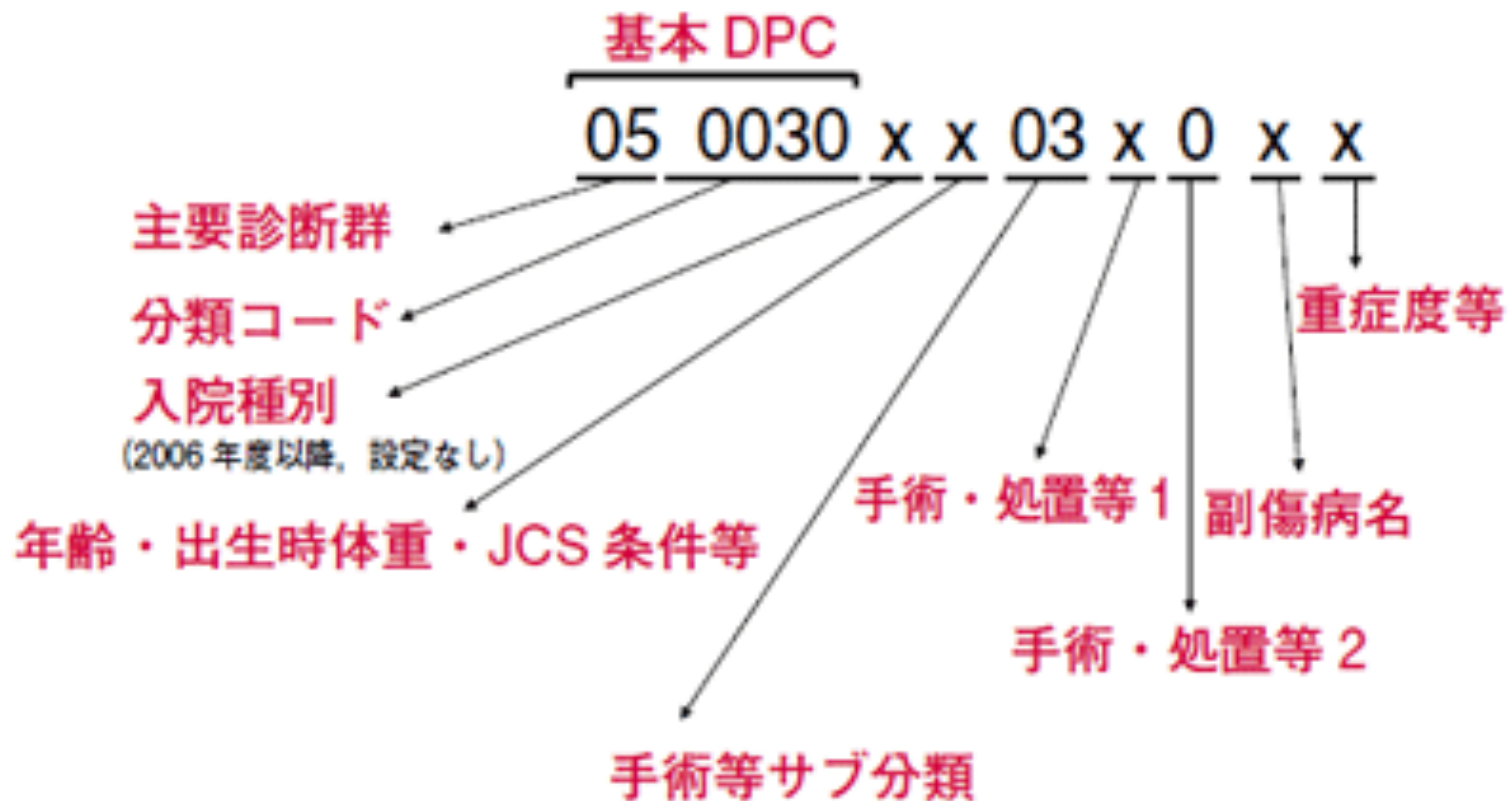
※2 包括対象となるDPC数

※3 CCPマトリックスを導入した分類は、複数の診断群分類が同一の支払い分類となる。



現場では

診断群分類コードの構成



X：該当する項目がない場合



診断群分類(DPC)の選択②

040100 喘息

手術・処置等2

平成26年10月から平成27年9月までの12か月間のデータを用いて点数設定

なし

副傷病

なし

040100xxxxx00x

あり

040100xxxxx01x

あり

1

副傷病

手術・処置等2
1;人工呼吸
2;オマリズマブ

なし

040100xxxxx10x

あり

040100xxxxx11x

2

040100xxxxx2xx

① 「診断(Diagnosis)(医療資源を最も投入した傷病名)」

② 「診療行為(Procedure)(手術、処置等)等」

『喘息発作重積状態』の患者に『人工呼吸』を行い、『副傷病』がなかった場合

診断群分類番号	入院日(日)			点数(点)		
	I	II	III	入院期間 I	入院期間 II	入院期間 III
040100xxxxx00x	3	6	30	2,449	1,810	1,538
040100xxxxx01x	6	11	30	2,741	2,026	1,722
040100xxxxx10x	5	10	30	3,054	2,257	1,918
040100xxxxx11x	9	19	60	3,258	2,408	2,035
040100xxxxx2xx	3	12	60	4,570	2,804	2,384



現場では

DPCは医事職員が決定する???

- ・最も医療資源を投入した病名は何???
- ・副傷病名はある???
- ・手術は???
- ・処置は行った???
(人工呼吸・中心静脈注射・インスリン etc.)
- ・最終決定は???





現場では

DPCは医事職員が決定する???

- ・ 精度管理
- ・ 個々の能力の向上
- ・ 医師との連携
- ・ 事務は医師ではないが臨床の知識が必要
- ・ 病院の収益に影響





現場では

診療報酬改定への対応

- ・ 2年に1度
- ・ DPC制度も見直される
- ・ 取りこぼしは病院の収益に大きく影響





現場では

済生会横浜市南部病院の場合

平成30年2月7日
所謂短冊が出されたのを受け、
診療報酬改定対策チームを発足

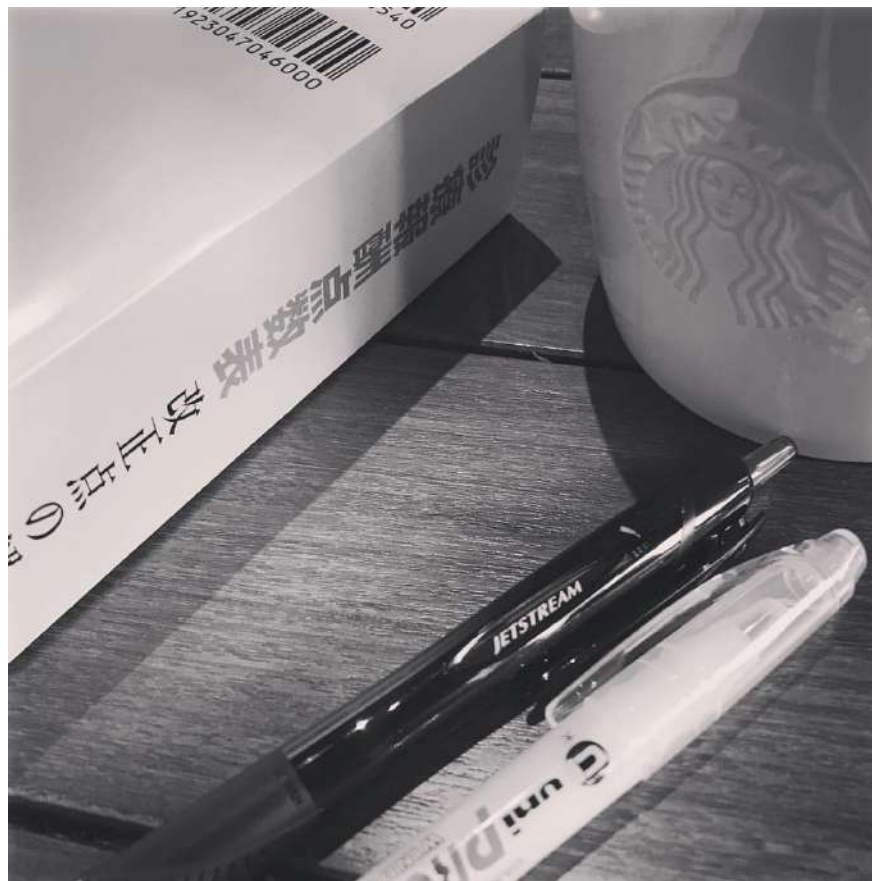
チーム構成
医師（リーダー）
看護師
薬剤師
リハビリ
中央放射線
中央検査
経営企画
人事課
システム
医事課





現場では

白本を読み込む





現場では

B001-2-5 院内トリアージ実施料 参考資料

初診＋時間外来院患者

救急車

B001-2-6
夜間休日救急搬送医学管理料
600点
→直近3ヶ月 計 1,009件
月平均 約330件(198万円/月)

直来、ウォークイン

【届出】B001-2-5
院内トリアージ実施料
100点→**300点**
→直近3ヶ月 計 1,779件
月平均 約590件(177万円/月)
→月**170万円**の増収

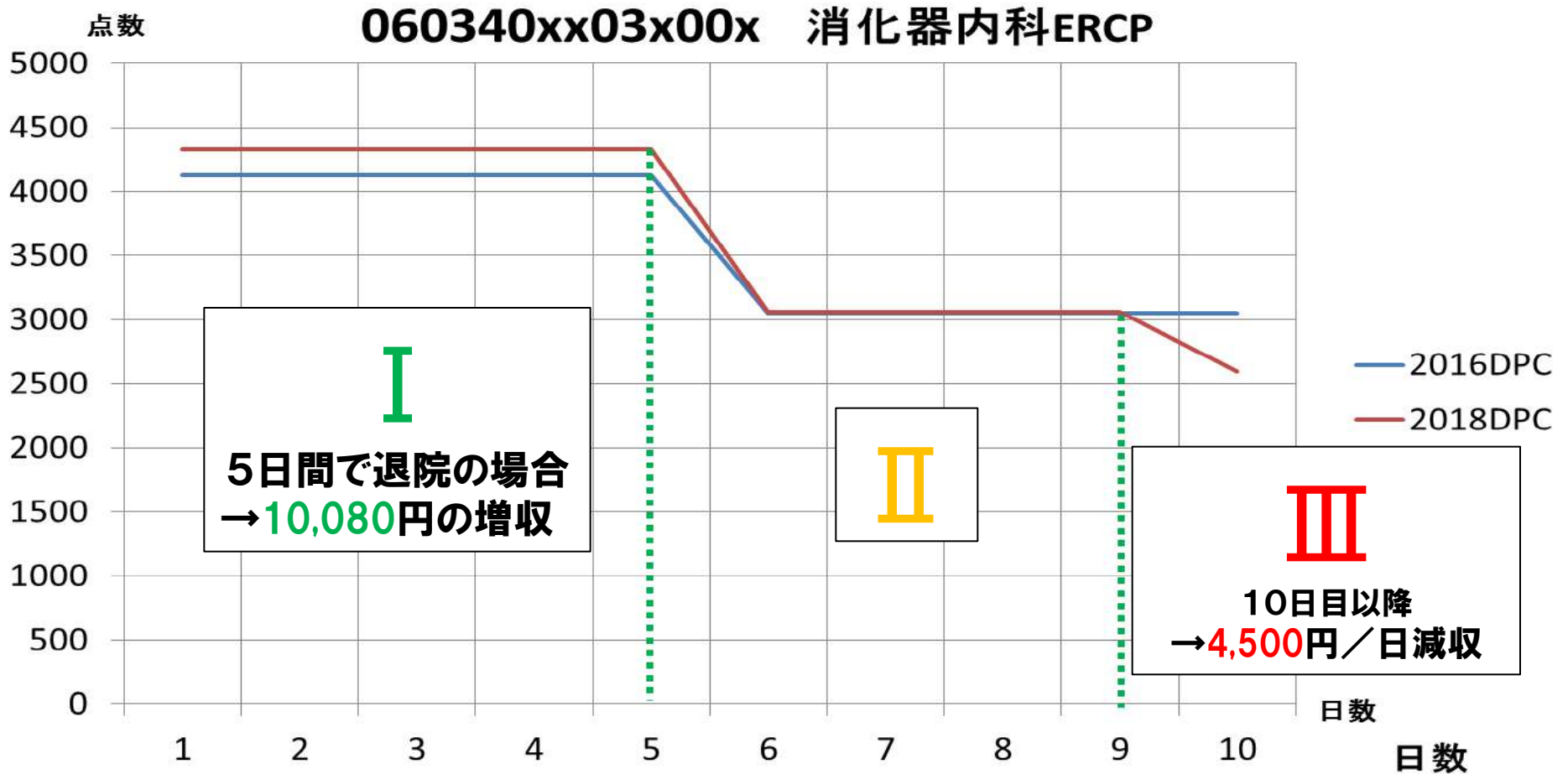


【新】救急搬送看護体制加算
200点
→月60万円の増収



現場では

2018年度DPCへの変更による影響





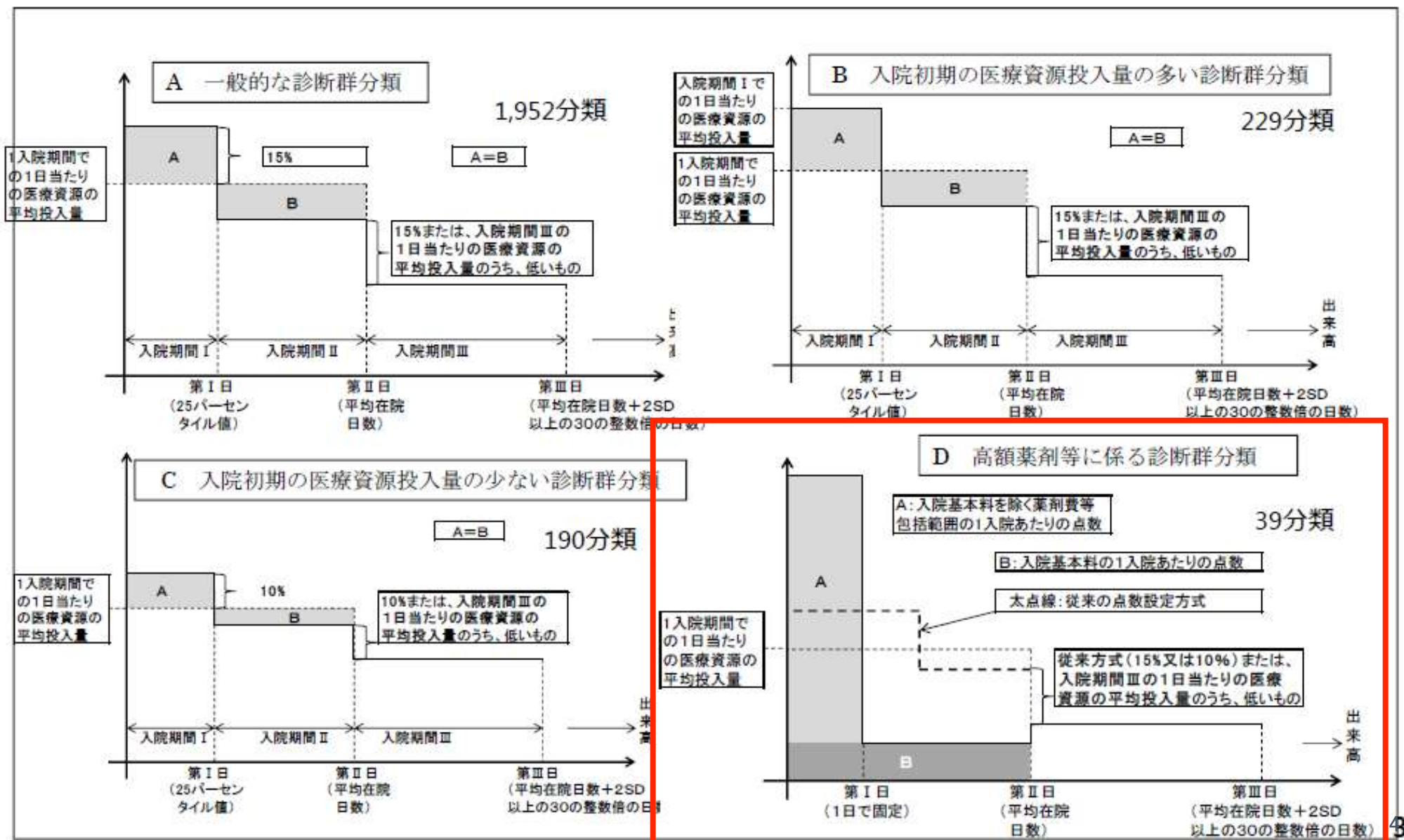
現場では

短期滞在手術の変更について※大腸ポリープ切除、EMR

	術式	手術 点数	入院料（単位：点）				
			1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
短期 滞在 対象 手術	K721. 1 内視鏡的大腸ポリープ・ 粘膜切除術（2cm未 満）	5,000	14,314				14,314+出来高
	K721. 2 内視鏡的大腸ポリープ・ 粘膜切除術（2cm以 上）	7,000	17,847				17,847+出来高

入院期間が5日間までは同じ点数

現行の点数設定方法



D 高額薬剤等に係る診断群分類

39分類

A: 入院基本料を除く薬剤費等
包括範囲の1入院あたりの点数

B: 入院基本料の1入院あたりの点数

太点線: 従来の点数設定方式

1入院期間での1日当たりの医療資源の平均投入量

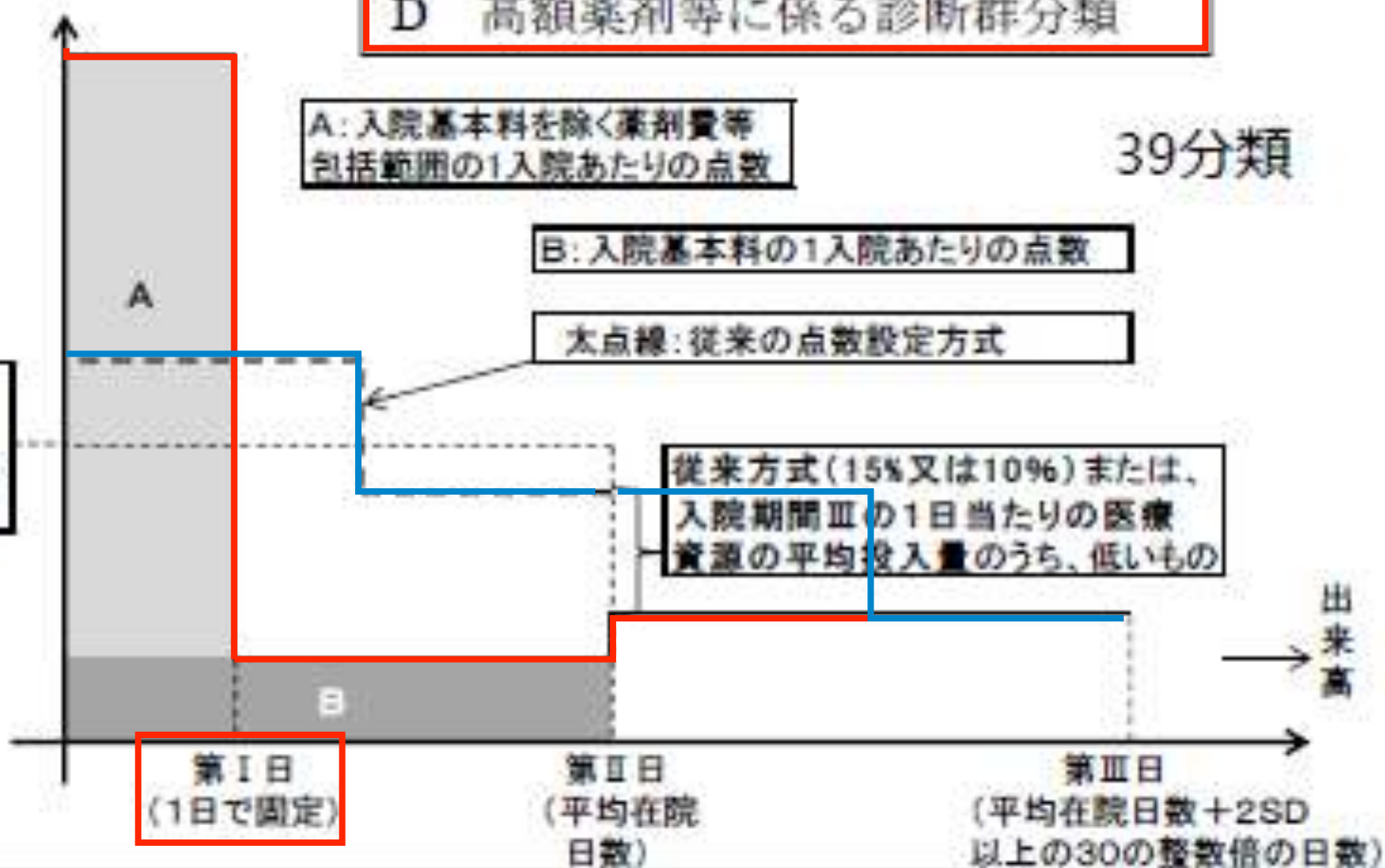
従来方式(15%又は10%)または、
入院期間Ⅲの1日当たりの医療
資源の平均投入量のうち、低いもの

出来高

第Ⅰ日
(1日で固定)

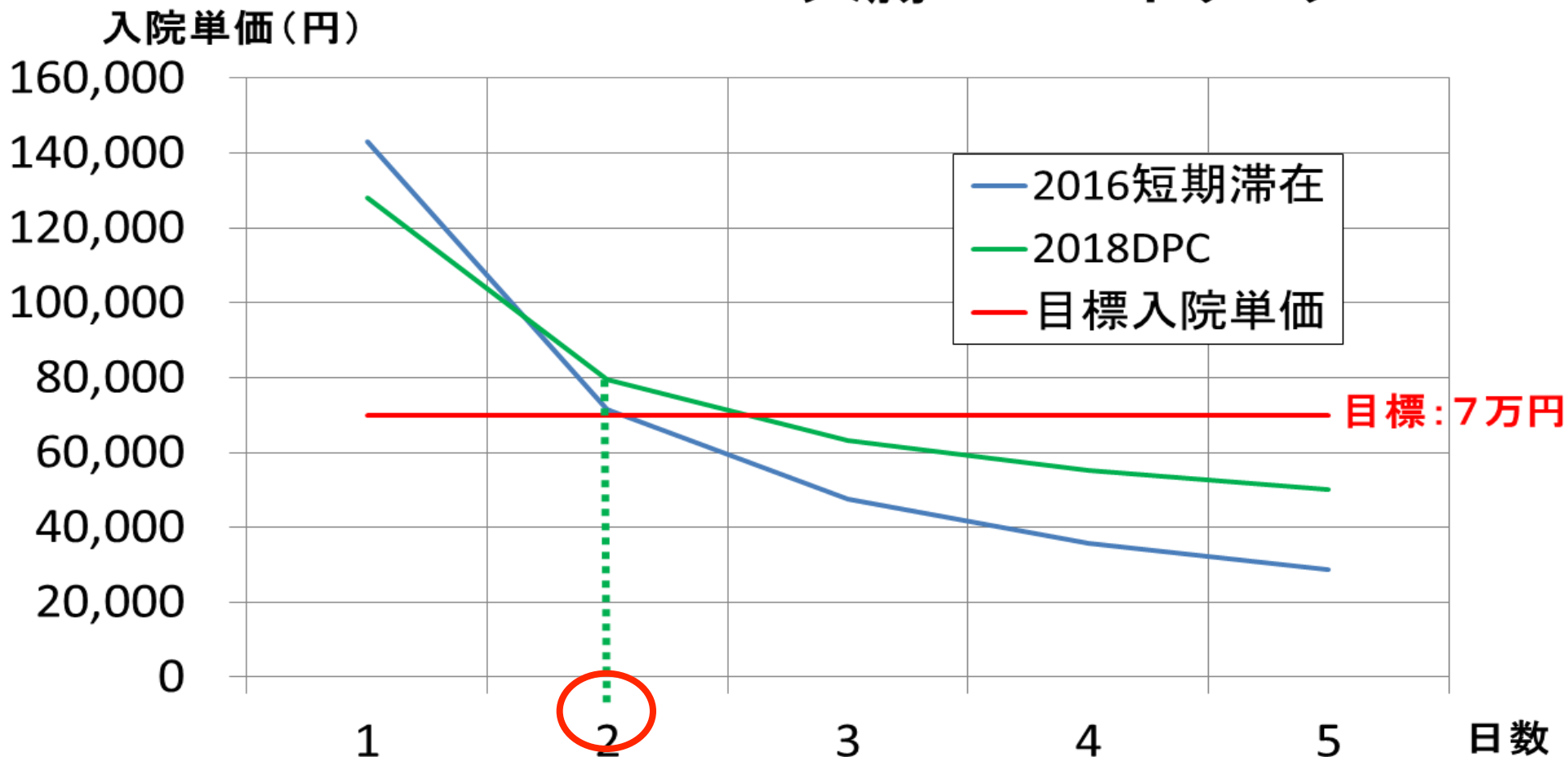
第Ⅱ日
(平均在院
日数)

第Ⅲ日
(平均在院日数+2SD
以上の30の整数倍の日数)



短期滞在からDPCへの変更による入院単価

060100xx01xx0x 大腸EMR・ポリペク





最後に

医療事務のイメージは？？？



ご清聴ありがとうございました



社会福祉法人 Saiseikai Yokohamashi Nanbu Hospital

恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院

医事請求課 柳澤孝彰